

いのちの言の葉2011

富山県教育委員会平成23年度いのちの教育総合支援事業

「いのちの授業」

富山市立奥田北小学校

平成23年10月27日実施

【いのちの先生】

山谷 眞己先生

・医師 中島こどもクリニック医院長

【授業の概要】

- 1 いのちはなくなってしまう
- 2 いのちはつづいている
- 3 他のいのちをもらって生きている

〇〇へ

〇〇君は、平成〇〇年〇月〇日の夜、3676gで生まれました。大阪のおじいちゃん、おばあちゃんも、そして、富山のおばあちゃん、そして、何よりお父さんが〇〇君の誕生を本当に喜びました。「一つしかない限りない命を誰よりも大切にしたい」と思う心は、お父さん、そして、お母さんの一番嬉しい言葉です。自分を大切にすることがお友達を大切にできることにつながっていきます。受け継がれる命を大切に、大きく成長してくれることを楽しみにしています。

母より

お母さんへ

ぼくは、命の授業を受けて、命は、どれだけ大切かわかりました。ひいじいちゃん、ひいばあちゃん、おじちゃん、おばあちゃん、そして、ぼくを産んでくれたお母さん、いつも会社で頑張っているお父さん、そして、ぼくにさずけられ、つながっている一つしかない限りある命、ぼくは、この命を、だれよりも大切にしたいと思いました。この、ぼくの命を、今度、生まれてきた子供にさずけます。

〇〇より

〇〇へ

メッセージ、ありがとう。これからも、家族が元気に過ごせるように、おいしいご飯を作りたいと思います。ご飯をしっかり食べて、これからも健康でいてください。

生まれた時は、よく病気をして、お父さんやお母さんが、交代で仕事を休んで看病しました。おじいちゃんやおばあちゃんにも、かわいがってもらい、お世話してもらいました。家族みんなが〇〇の誕生を喜んで生まれた命です。大事にしてね。そして、自分で決めた何かを一生懸命頑張ってください。きっと、いいことあるよ！

母より

お母さんへ

お母さん、いつも、ご飯を作ってくれたり、習い事の送りむかえをしてくれて、ありがとうございます。ぼくは、命の授業で、いろんな生き物や植物に命があることを知りました。なので、お母さんの作っている料理に感謝を込めて食べようと思いました。そして、お母さんからのもらった命を、大切に、これからもつなげていきたいです。

〇〇より